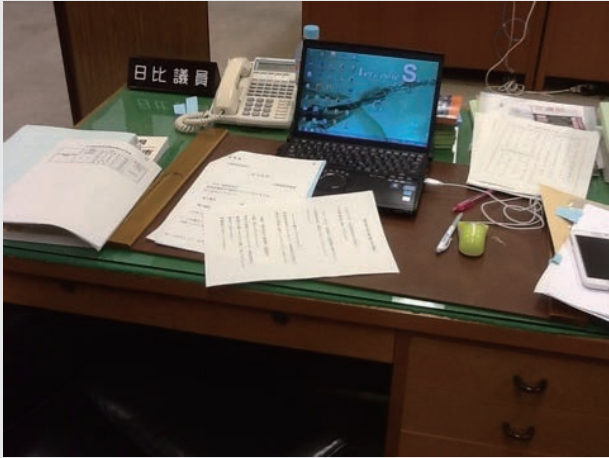




ひび 健太郎

5月臨時会で、委員会の改選が行われました。



名古屋市議会の5月臨時会が開会されました。この臨時会では委員会の改選が行われます。私は昨年度、土木交通委員会副委員長と都市活力向上特別委員会副委員長を拝命しておりましたが、今年度は、財政福祉委員と、防災災害特別委員会委員を拝命しました。

防災災害対策特別委員会では初めて委員長の職務を拝命しましたが、この防災災害対策特別委員会は、昨年の中日本大震災を受けて、本市の災害対策を見直すことをテーマに設けられた委員会です。

陸前高田市の丸ごと支援の経験や、震災の被害想定の見直しなど、来るべき災害に備えて市民の生命と財産を守るための取り組みをしっかりと審議したいと思います。

ひび健太郎

ひび健太郎プロフィール

昭和55年生まれ 名東区生まれ
名東区育ち、上社幼稚園 猪高小
猪高中、名城大学付属高等学校
名城大学理工学部建築学科

衆議院議員古川元久 秘書
2007年4月8日 初当選
2011年3月13日 二期当選

趣味

一人旅 学生時代からの趣味、20カ国以上をバックパッカー貧乏旅行でまわり、世界の素晴らしい文化と同時に、貧困や戦争を知り、改めて日本の素晴らしさに気付き、それを守る仕事をしたいと政治を志す。

大事にしていること 笑顔。

ひびログ

2012年3月11日

今日は東日本大震災から一年を迎えます。

ちょうど一年前は名古屋市議会のリコール選挙が行われていたので当日のことはよく覚えています。震災後2度ほど被災地の復興ボランティアにも参加しましたが、5月に初めて被災地の様子を見た時は、予想以上の光景に絶句しました。

自然の前に人間の存在は儂く脆いものだと気づかされると同時に、そこから立ち上がる人の強さも感じました。

ただ、その被害にあって、より深い悲しみを感じた人々の心の奥底は我々には慮ることしかできませんが、その悲しみが少しずつでも和らぐことを心からお祈り申し上げます。

名古屋市会では14:46にあわせて追悼の議員総会が開かれました。テレビで拝見した被災者の言葉、「想定外の被害を受けたからこそ、想定外の復興を遂げて見せる。」

鎮魂の祈りと共に被災地の一助となれるよう、復興を皆さんと共に誓いたいと思います。



保育園内覧会と子どもを育てるということについて



今名古屋市各地では、待機児童対策で新設の保育園が続々オープンしています。そのひとつ、香流に開園した保育園の内覧会にお邪魔してきました。この保育園は賃貸を利用した、小規模の0歳から3歳児までの保育園で、定員は30名、外から見るとちょっと大きなおうちという感じの保育園でした。賃貸とはいえ、しっかり保育園としての機能を備えて新築され、床暖房から温水蛇口、トイレ暖房まで、とても充実してきれいな保育園でした。理事長さんはじめ、園長さん、保育士さんもとても朗らかで暖かい感じを受けました。

市役所の保育担当の職員さんも同席し、保育行政の在り方や仕組み、予算について、レクチャーを受け勉強しましたが、今0歳時の乳幼児を保育園で預かるために一人当たりでコスト計算すると、毎月一人当たり約18万円程の予算が計上されています。

0歳から1歳児でそれだけ多くのコストを保護者と国、県、市が負担して保育しているという現実には、やはり違和感を感じます。

それは、そのお金を出している現実にはではなくて、なぜそういういびつな、保育園に預けた場合にのみそれだけのコストを行政が負担するのかということについてです。

私は子ども手当は推進すべきだと今でも信じています。子ども手当でも含め、いま日本では、子どもにかかる費用は残念ながら年金など、高齢者への給付のと比較しても数パーセントにしかなりません。

「子ども手当では廃止しろ、年金は減らすな」という言葉が、報道やインターネットなどでもよく見かけますが私は世の中の矛盾の最たるものだと感じています。

今保育園は行政が税金から大きな負担をして、保護者負担を低額に抑えるように制度設計されていますが、制度を変えれば、たとえば一番手のかかる0から1歳児までの全子育て世代に8万円、その後手が離れるに従って2歳児～3歳児まで6万円、4歳児～5歳児まで4万円、その後成人まで2万円程度づつでも支給することができれば、共働き世帯の経済支援にもなり、子どもを自分の手で育てるという選択の幅も広げられ、もとより、子どもを産むという選択の幅も広がり、人口減少は明らかに改善されるのではないのでしょうか。

現状でも、現金給付がダメだからといって、結局保育園整備やその他現物支給で大きなコストを抱えているくらいなら、子どもにとっても親にとっても一番いいあり方を模索して、社会で子どもを育てるという考え方をもっと持ってもいいはずですよ。

ばらまきと批判する方もあるかもしれませんが、子どもが減り、社会を支える人口、消費する人口が減っていく社会に二度と好景気など訪れません。

消費があるからこそ供給する側が潤い、そしてまたそこから消費を生み出す。

その根幹にあるのは、労働者人口です。

日本の人口の動向とほぼリンクして日本の景気動向が動いています。

世界的な動きも含みますが、基本的には団塊世代が世の中において最も消費する立場にあった25年前が日本の景気のピークでした。

自ら稼ぎ、自ら消費する人口を増やすことがこの国の未来を左右します。

子どもを育てるということはそういうことだと私は思います。

子どもたちの未来のために、そして、日本社会のために子どもたちを育てることに、もっと積極的に且つ理想的な形でコストをかけることこそ今、必要なことではないのでしょうか。



市政へのご意見をお聞かせください。

465-0025
名古屋市名東区上社1丁目 402番地 柴昭ビル1E
TEL 052-777-3193 Fax 052-777-7330
Mail info@hibiken.com

[http:// www.hibiken.com](http://www.hibiken.com)

検索

市民習字・ペン字教室

参加費(材料費込み)500円

●とき／ 6月11日
7月23日
8月20日

(2時間程度) ●場所／ひび健太郎事務所
左記(月曜日) 10:30~12:00

「習いたいけどなかなか継続して通えないなあ。」「もう少し字が上手になりたい。」など、皆様のお声に、様々な書画、作品を世に送り出している書家の先生が応えます。この機会にぜひ、字の練習をしませんか? お一人でもお気軽にご参加ください。

※筆だけお持ちください。ない場合はお貸しします。